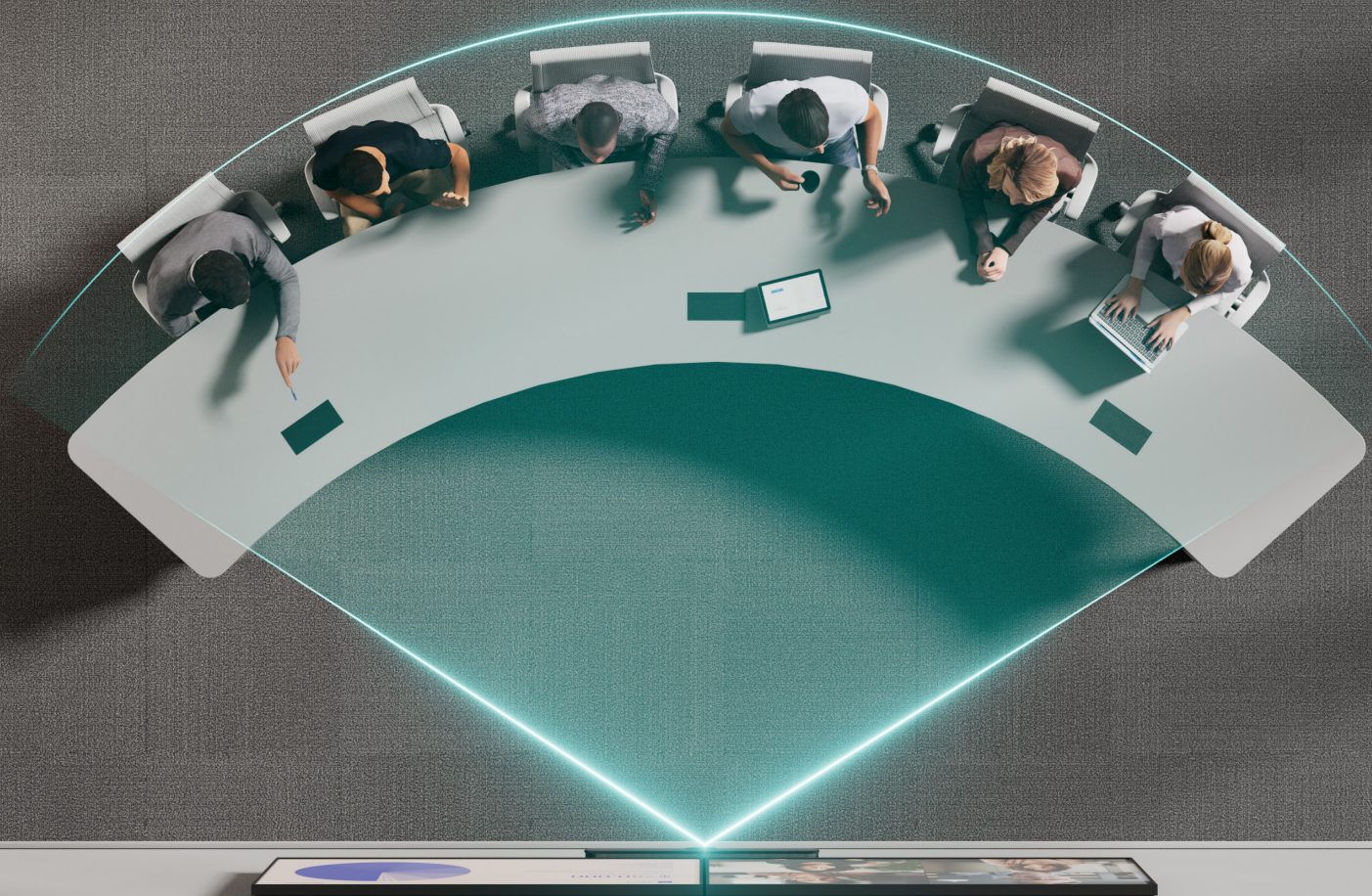




未来を見据えたコラボレーション： よりスマートな会議室へようこそ

効果が持続するよう設計されたソリューションで、今日のビデオ会議の課題を克服しましょう。

今日の会議室の課題を解決する

今日の職場環境は変化しており、期待される水準も上がっています。[WiFiTalents](#)によると、実に**83%もの従業員**がオフィスと自宅のどちらでも仕事をしており、その半数近くがこの働き方を好んでいると推定されています。

それでも IT チームには、オフィス、自宅などのあらゆる場所からの参加者を対象にすべての会議を円滑に進めるという高い要求が、依然として突きつけられています。しかし多くの場合、その裏側にある技術は、そうした野望に追いついていません。技術が追いついていなければ、不満も募ります。音声トラブルで何度も言い直さなければならず、映像がフリーズしたせいでリモートの参加者が取り残され、皆が会議の目的を完全に見失ってしまいます。その結果、時間の浪費、コミュニケーションの欠如、そしてコストの損失が発生します。

[Speakwise](#)によると、非効率な会議によって**従業員1人あたり年間29,000ドル**もの損失が生じている可能性があります。さらに、ロジクールが発行した最初の [The Workplace Equation](#) レポートによると、これらの問題によって中央値で**1人あたり12.2分の生産性の損失**が発生している一方で、**IT リーダーの30%が、1回の技術的な障害で1人あたり16分以上の損失が発生していると報告**しています。

このデータは多くのことを物語っています。拡張性が考慮されておらず、今後5年から10年に向けた基盤を築くことができない時代遅れのテクノロジーに頼っていると、時間の浪費や生産性の低下が生じるだけでなく、ハードコストも上昇する可能性があります。



この電子書籍の目的は、IT リーダーが時代遅れのソリューションの先を見据え、以下の重要な問いに答えられるようにすることです。

組織はどうすれば、単にチームをつなぐ段階から真にコラボレーションを促進する段階へと移行できるのでしょうか？

どのような会議室テクノロジーであれば、絶えず改良を重ねなくても、職場の進化に対応し続けられるのでしょうか？

長く利用できて適応力があり、ビジネスの成長に合わせて拡張できるソリューションに投資すべき理由とは何でしょうか？

新しいビデオ会議ソリューションを導入することで、どのように会議をよりスマートに、よりシンプルに、そして将来何が起きても対応できるように変革できるかをご紹介します。



「十分」の代償とは

継ぎはぎの設定や「十分」なレベルのソリューションは、手っ取り早い解決策に見えるかもしれませんが、旧式のテクノロジーでは加速する職場環境についていくことはできず、結果として以下のような問題が生じます。

時間の損失：人事担当役員の報告によると、従業員は会議テクノロジーの操作に毎週1時間近くを費やしています。

IT スタッフの疲弊：IT 部門はイノベーションを起こすどころか、トラブルシューティングや設定、問い合わせ対応に追われることになり、時には同じ問題に何度も対処しなければなりません。

文化的な影響：ぎこちない会議は勢いを削ぎ、リモート参加者に疎外感を与えてしまいます。

以上の理由から、64%の企業はコラボレーションテクノロジーの予算を増額し、こうした落とし穴を回避しようとしています。「十分」なものには大きな代償が伴うというのは明らかです。

ビデオ会議には刷新が必要です

非効率性を克服し、俊敏性を獲得するために、組織は今日の需要と将来の可能性を見据えて設計された最新のビデオ会議ソリューションを必要としています。将来を見据えたアプローチは、選択肢と柔軟性、信頼性と拡張性、使いやすさ、サステナビリティとセキュリティなど、多くの利点をもたらします。



トップ組織が会議体験を向上させる4つの方法

この絶えず進化する環境で成功するために、最新の会議室は以下を実現するものでなくてはなりません。

よりスマートに：AIを活用して、極めてクリアな音声、完璧にフレーミングされた映像、分析に基づくインサイト、そして職場の自動化を実現します。

よりシンプルに：設置と管理の簡素化は不可欠です。そしてユーザーにとって、ソリューションはより使いやすいものであるべきです。

よりサステナブルに：リサイクル素材やリサイクル可能な素材を使用し、エネルギー効率を考慮して設計されたソリューションを使用しましょう。

より安全に：ビデオ通話と接続を確実に保護し、ソフトウェアを簡単にアップデートしてセキュリティを維持できるようにします。

会議室ソリューションの選択において重要なのは、システムが今日だけでなく長期にわたって使用に耐えられるようにすることです。適切なテクノロジーは、組織が変化に迅速に適応し、シームレスにつながり、競争力を維持するのに役立ちます。場当たりの修正や繰り返しのアップグレードではなく、将来を見据えたアプローチをとることで、投資の効果が持続し、チームが最高のパフォーマンスを発揮できるようになります。

AI を活用した会議がこれまで以上に重要となる理由

将来のビデオ会議に備える方法の1つは、AI を取り入れることです。会議の品質とより優れた体験への期待が高まる中、単に異なる場所にいるチーム同士をつなぐだけでは十分とはいえません。組織には、自分の姿と声が伝わり、自分が積極的に参加していると誰もが感じられる公平な環境が必要です。AI は現代の会議室テクノロジーに革新的な変化をもたらし、以下を推し進めるための扉を開こうとしています。

- **包括性:** よりスマートなフレーミングと音声レベリングにより、リモート参加者と会議室内の参加者が同じ体験を得られるようになります。誰も取り残されることはありません。
- **エンゲージメント:** AI が気を散らす要素を取り除き、会議室の状況の変化に適応するため、会議が常に集中した状態で効果的に進行します。
- **効率性:** 技術的なトラブルシューティングや繰り返しのコミュニケーションに費やす時間が減ることで、有意義なコラボレーションのための時間が増えます。
- **インサイト:** AI を活用した分析により、IT 部門は会議室の利用状況、環境品質、デバイスの健全性を把握でき、プロアクティブな計画立案とよりスマートな投資が可能になります。

ビデオ会議システムに AI を活用する意義は、単にテクノロジーがスマートになることだけでなく、人々がどこにいても最高のパフォーマンスを発揮できるようになることです。AI を活用した会議ソリューションへの投資は、組織の成功、従業員の満足度、そして持続可能な成長にとって極めて重要です。

政府機関向け

進化する政府機関のスペースのための最新のコラボレーション

政府機関には、管理が容易で、共有ワークスペース全体で信頼性の高いパフォーマンスを支えるように構築されたテクノロジーが必要です。

ロジクルの最新ソリューションである Rally Bar 2、Rally System 2 Pro、Tap IP 2、および Tap Scheduler 2 は、高品質なビデオとオーディオ、一元管理、暗号化、そして内蔵 AI を活用した会議体験を統合し、より効果的なコラボレーションとミッションの成功を支援します。



将来を見据えた計画：モジュール化で、より柔軟で適応性の高い会議スペースを実現

職場環境が進化し続ける中、特に高品質なビデオ会議を実現するとなると、[大規模で複雑な会議室には特有の課題が生じます](#)。こうした会議室では、ある日はオフィス勤務者とリモート参加者からなるプロジェクトチームに対応し、翌日には全社的なタウンホールミーティングや部門横断的なトレーニングを開催したり、部屋を分割して複数の会議を同時に行ったりする必要があるかもしれません。スケジュールの柔軟な変化や組織の成長に伴い、さまざまな会議の規模、レイアウト、目的に合わせて迅速かつシームレスに適應できるスペースへの需要がかつてないほど高まっています。



分割可能な会議室の増加

チームの部門横断化が進み、イベントの規模が拡大するにつれて、より大規模で複雑な会議室が不可欠となっています。かつては単一のグループ向けだったスペースにも、今では取締役会議からワークショップ、部門別の分科会まで、あらゆる用途に対応できる柔軟性が求められています。可動式の壁やパーティションを備えた分割可能な会議室により、組織は必要に応じて不動産を再構成し、あらゆるスペースからより多くの価値を引き出すことができます。

モジュール化の重要性

そこで欠かせないのが、モジュール化のアプローチです。拡張、適応、進化するように設計された会議室テクノロジーに投資することで、組織は数年ごとに高額な改修を行うことなく、スペースを動的かつ将来に備えた状態に保つことができます。モジュール式のシステムを採用すれば、会議の規模が拡大した場合にマイクやスピーカーを追加したり、部屋を2つに分割する際に AV コントロールとディスプレイを分離したりすることが可能になります。これらすべてを、既存の設備を撤去したり交換したりせずに、最小限の中断で実現できます。

柔軟性とモジュール性を考慮して計画を策定することで、組織はニーズがどのように変化しても、俊敏性を維持し、不動産投資を最大化し、卓越した会議体験を維持することができます。



よりスマートな会議を

ロジクールの最新世代のビデオ会議ソリューションは、現在および将来にわたって、シームレスで信頼性が高く安全な会議を大規模に実現するように設計されており、時代遅れの継ぎはぎ的なソリューションに依存することによる課題を克服できるよう組織を支援します。以下でその詳細をご覧ください。





医療業界向け

信頼できる接続を実現

医療の現場では、一秒一秒、そしてすべてのつながりが重要です。時代遅れの通信手段は、患者ケアに影響を与えたり、事務処理の遅延を生じさせたり、トレーニングの妨げになったりする可能性があります。医療従事者には、安全かつ直感的で、臨床現場に求められる信頼性を備えた、確実に動作するシステムが必要です。

Rally Bar 2および Rally System 2 Pro は、総合医療チームの会議やトレーニングなどのあらゆる場面で、極めて鮮明な映像と音声を提供します。これにより誤解が最小限に抑えられ、場所を問わず医療従事者がコラボレーションや連携を行えるようになります。AIを活用した機能強化により、ノイズをフィルタリングして発言者にスポットライトが当たるようにできるため、重要な情報が常に確実に伝わります。

プライバシー、コンプライアンス、使いやすさを考慮して設計されたこれらのソリューションは、医療機関の業務フローの効率化を支援し、持続可能で安全なコラボレーションをサポートします。

Rally Bar 2

Rally Bar 2は、未来型の会議を今日から、そして今後何年にもわたって実行するために必要な最先端の処理能力を備えて設計された、ロジクール次世代の一体型ビデオバーです。シンプルさ、インテリジェンス、そして視聴覚の性能において飛躍的な進歩を実現します。Rally Bar 2は、拡張性の高い会議室を展開するためにできることを再定義し、管理を容易にすると同時に、毎回すべてのユーザーに喜びを提供します。

中・大会議室向けに設計された Rally Bar 2は、プログレードの4Kカメラ、1インチイメージセンサー、115度の超広角視野、そして会議室内の人が動いても全員を常にフレーム内に収めるAI搭載の高度なオートフレーミング機能により、驚くほど鮮明な映像を実現します。AIを活用した反響およびノイズの抑制機能で強化された6つのビームフォーミングマイクを含む画期的なオーディオ機能により、リモート参加者にも声がはっきりと届きます。また、4スピーカーシステムが極めてクリアな音声を提供するため、会議室内にいる参加者は、すべての言葉を確実に聞き取れるようになります。

IT部門にとって、Rally Bar 2は運用効率の要となる製品です。クラウドファーストの設計により、あらゆる規模の機器一式で設定、導入、監視、更新が効率化されるため、拡張はこれ以上ないほど簡単です。AV over IPテクノロジーであるロジクール Link を使用して、カテゴリケーブルで追加のカメラやマイクポッドを簡単に接続できます。ロジクール Sync を通じて管理されるため、ITチームはリアルタイムのインサイトとリモート管理機能を得ることができ、オンサイト訪問やサポートチケットを最小限に抑えられます。柔軟なデュアルディスプレイ出力と主要プラットフォームのネイティブサポートにより、多様な環境へのシームレスな統合が可能になります。また、エンドツーエンドのエンタープライズセキュリティが安心感をもたらします。

さらに、Rally Bar 2はサステナビリティと未来を念頭に置いて構築されており、簡単にリサイクル可能なアルミニウム製シャーシと、ポストコンシューマーリサイクル (PCR) プラスチックで作られた部品が使用されています。これは真のイノベーションです。まさに明瞭さ、インテリジェンス、使いやすさにおいて一歩先を行くビデオバーであり、IT部門は卓越した会議体験を今日から提供し、明日へ向けて恐れることなく適応できるようになります。

Rally System 2 Pro

Rally System 2 Pro は、複雑なモジュール式会議室の支えとなります。Rally System 2 Pro は、Rally AI Camera Pro、Rally Speaker 2、2台の Rally Mic Pod 2 であらかじめ構成されており、より大規模で要求の厳しい会議室を対象に新しいクラスのパフォーマンスを提供する強力な CollabOS システムである RoomMate 2 Pro を基盤としています。会議室のニーズに合わせてデバイスを追加すれば、さらなる柔軟性が得ることができます。

Rally System 2 Pro は、昔ながらの役員室や広々としたタウンホール、可動壁のある分割可能なエリアなど、どのようなスペースにもシームレスに適応するように設計されています。そのモジュール式コンポーネントは、ほぼすべてのサイズやレイアウトの大会議室に合わせて迅速に構成可能で、単一の大きな会議エリアから、一日を通して形を変えるスペースまで、あらゆる場所に対応します。AI を活用した映像

処理技術やフレーミング技術により、参加者が向いている方向に応じて最適な見え方で映し出す Smart Switching などの機能が強化されました。この機能は、会議室内の参加者すべてに平等な存在感を与えつつ、集中力を最大限に高めます。

Rally System 2 Pro によって、IT チームは効率的な導入、容易な拡張が可能になり、マイクポッド、スピーカー、カメラを含むモジュール式コンポーネントを利用できます。ロジクール Link を使用すれば、カメラ、マイクポッド、スピーカーを追加して Rally System 2 Pro を拡張できるため、拡張性もシンプルになります。スペースを分割可能にしたい場合は、複数の Rally System 2 Pro ソリューションを組み合わせることができます。会議室のシーンは、ロジクール Sync または API を通じて、室内から簡単に切り替えることができます。また、ロジクール Sync による集中管理により、監視、更新、トラブルシューティング、セキ

ュリティがリモートで一元的に可視化されるため、大規模に運用を簡素化できます。

長寿命と持続的なパフォーマンスを実現するために設計された Rally System 2 Pro には、エネルギーを意識し、責任を持って調達された素材が利用されています。これにより組織は将来を見据えた投資を行いながら、サステナビリティ目標を達成することができます。卓越した明瞭さ、インテリジェントな自動化、モジュール式による柔軟性を兼ね備えた Rally System 2 Pro は、将来のいかなるコラボレーションの需要にも対応できます。

教育市場向け

教室をつなぎ、エンゲージメントを刺激する

今日の教育者は、賑やかな講義室からリモートの自宅環境まで、あらゆる場所で学ぶ学生にコンタクトすることが求められています。同時に、ビデオ会議テクノロジーは、シンプルで一貫性があり、管理者にとって使いやすく IT チームにとって管理しやすい、直感で使えるものでなければなりません。

ロジクールの次世代ソリューションは、そのギャップを解消します。Rally Bar 2 と Rally System 2 Pro により、学校や大学は、教室、トレーニングルーム、臨時スペース、そして管理ワークスペースに、非常にクリアなビデオと没入感のあるオーディオを導入できます。これにより、対面でもオンラインでも、学生、スタッフ、教員にとってコラボレーションや連携が容易でインタラクティブなものになります。オートフレーミングやノイズ抑制などの AI 搭載機能により、技術的なトラブルなしに、プレゼンターに焦点を当て続けることができます。

サステナビリティを核とし、一元的な IT 管理が容易なこれらのソリューションは、時間とエネルギーの無駄を削減しながら、教育機関の規模拡大を支援します。





Tap IP 2

Tap IP 2を導入すると、あらゆる構成の会議室でシームレスに機能する鮮やかでスマートなインターフェースとともに、容易なタッチコントロールをあらゆる会議スペースで利用できます。会議の開始、コンテンツの共有、設定の管理を即座に行うことができ、トレーニングも不要です。また、迅速に導入でき、リモート管理が容易で、好みの会議プラットフォームに対応するといったメリットもあります。これにより Tap IP 2は、ワールドクラスの会議室体験を完璧に仕上げることができます。

Tap Scheduler 2

Tap Scheduler 2では会議室の空き状況を容易に確認できるため、即座に空きスペースを見つけ、会議の詳細を表示し、ドアのすぐそばで部屋を予約できます。より鮮やかで見やすいディスプレイ、ダブルブッキングを防ぐ密接なカレンダー統合、迅速に設置できる多彩な取り付けオプション、主要なスペース管理プラットフォームとの互換性を備えた Tap Scheduler 2は、あらゆる共有スペースをアクセスしやすく、整理され、コラボレーションに最適な状態に保ちます。





基準をさらに高く

ロジクルの次世代ビデオ会議機器シリーズには、以下のような多くのメリットがあります。

卓越したユーザー体験：AI 駆動の機能により、リモート参加者もオンサイト参加者も、誰でもシームレスでインクルーシブな体験を得られます。

IT サポートの削減：プラグ&プレイのモジュール式ハードウェアと一元化されたリモート管理により、導入が迅速化され、サポートチケットが削減されます。

組み込みのサステナビリティ：Rally Bar 2にはリサイクル素材とリサイクル可能なアルミニウムシャーシが採用されており、組織の環境目標の達成をサポートします。

エンドツーエンドのセキュリティ：ソフトウェアとファームウェアの継続的な更新により、環境の安全性と将来への備えを維持します。

実用的なインサイト：豊富な分析データが、会議室の利用状況、環境品質、テクノロジー投資の意思決定の最適化を支援します。

自信に満ちたコラボレーションへの道

会議室の変革は、単なる技術的なアップグレードではなく、戦略的な行動です。ロジクール Rally Bar 2、Rally System 2 Pro、Tap IP 2、および Tap Scheduler 2は、よりシンプルで、スマートで、サステナブルで、安全なスペースを構築できるよう IT リーダーを支援します。これにより、時代遅れのツールによる制限やコストに縛られることのない、今日そして明日へと続く、的を絞った実りあるチームワークとコラボレーションが実現します。



レベルアップの準備 はできていますか？

老朽化したソリューションによってコラボレーションが損なわれたり、IT 部門が時間とコストを浪費したりすることがあってはなりません。ロジクールが提供する次世代のビデオ会議ソリューションが、将来を見据えた会議スペースをどのように実現するかをご覧ください。生産性、サステナビリティ、そしてシームレスなコラボレーションにおける次の飛躍は、ここから始まります。

logicool for business

右記のリンクからお問
い合わせください。

Logitech Europe S.A.

-
-

購入後のお問い合わせ：
株式会社ロジクールカスタマー
リレーションセンター
<https://prosupport.logi.com/>

©2026 Logitech, Logicool. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。ロジクール、Logicoolおよびそれらのロゴは、Logitech Europe S.A.および/または米国およびその他の国における関連会社の商標です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に記載されている製品、価格、および機能情報は、予告なく変更される場合があります。

発行：2026年10月